

がん検診

1 事業概要・目的

【目的】

早期発見・早期治療によるがん罹患者の死亡率を減少させることを目的として、健康増進法に基づいてがん検診事業を実施しており、現在は、国の指針による5つのがん検診（大腸、肺、胃、乳、子宮）に加え、前立腺がん検診を対象としており、静岡県内で長泉町のみ上記すべてを「自己負担無し」で実施している。（健康増進法、長泉町がん対策推進条例）

【概要】※予算計上人数 延べ約 24,300 人／約 12 万人

- ・大腸がん 40 歳以上の男女（約 4,700 人） @5,600 円/人
- ・肺がん 40 歳以上の男女（約 6,000 人） @5,400 円/人
- ・胃がん 35 歳以上の男女（約 5,700 人） @16,000 円/人 ※内視鏡
- ・乳がん 40 歳以上の女性（約 1,700 人） @10,500 円/人
- ・子宮頸がん 20 歳以上の女性（約 3,900 人） @8,400 円/人
- ・前立腺がん 50 歳以上の男性（約 2,300 人） @7,600 円/人

2 予算

1 億 8,500 万円

3 成果

がんの早期発見・早期治療により、がんによる死亡率の低下につながることに加え、早期治療により国保等の将来的な医療費削減も期待できる。また、無料化により住民が検診を受診しやすい状況となり、がん検診の受診率は県内でも上位に位置している。

4 課題

がん検診に係る経費については、その一部を国が地方交付税で措置しているが、当町は普通交付税の不交付団体であるためこれが措置されず、また自己負担金も徴収していないことから、全て町の一般財源で担っており、財政を圧迫する要因の一つとなっている。

5 近隣市町の状況（自己負担金）

大腸がん 500 円、肺がん 1,000 円、胃がん 2,000 円、乳がん 1,200 円、
子宮頸がん 1,000 円、前立腺がん 1,000 円

参考：当町が上記の自己負担を予算化した場合 約 2,800 万円の歳入増

敬老事業（敬老祝金・敬老祝品の贈呈）

1 事業概要・目的

【目的】

永年社会に貢献した高齢者を敬愛するため、70歳以上の町民に対して敬老祝金5,000円を贈呈し、節目年齢(77歳、88歳、90歳、99歳、100歳以上)の町民に敬老祝品（町のブランド認定品等）を贈呈する。

【概要】

敬老祝金	70歳以上	8,200人× 5,000円
敬老祝品	喜寿・米寿	690人× 4,200円
	卒寿・白寿	200人× 7,000円
	満100歳・100歳以上	40人×19,000円

2 予算

敬老祝金・祝品	約 4,600 万円
事務費	約 160 万円

3 成果

高齢者の幸福や生きがいにつながっている。

4 課題

高齢化の進展による敬老祝金・祝品の対象者の増加、定年延長等により70歳を過ぎても働く人が増えていることなど高齢者を取り巻く状況も大きく変化しており、5,000円を支給することの「敬老」としての効果について、疑問を感じざるを得ない状況に加えて、支給に関する事業費（受付や駐車場スタッフの人件費、振込手数料等）も増加しており、当事業が町財政を経常的に圧迫することとなっている。

5 近隣市町の状況

県内で節目年齢以外の方にも敬老祝金を支給している市町は当町と函南町のみである。

文化振興事業（文化祭、文化協会展、美術展、ピアノマラソン）

1 事業概要・目的

【目的】

町民の創作や発表、鑑賞の機会をすることにより、地域における文化・芸術活動を広く普及させ町民の文化向上を図る。

【概要】

■文化協会展（町文化協会への補助事業）

時期：5月下旬

会場：コミュニティセンター展示室（展示）、文化センターホール（芸能）

内容：展示の部（書道/写真/俳句/川柳/生け花/図画工作他）

H 8 248点 ⇒ H18 257点 ⇒ R 6 127点

芸能の部（詩吟/フラダンス/吹奏楽/ウクレレ/声楽他）

H 8 28団体・1,397人 ⇒ H18 27団体・943人 ⇒ R 6 20団体・175人

■町民文化祭

時期：10月下旬

会場：コミュニティセンター展示室他（展示）、文化センターホール（芸能）

内容：展示の部（写真、手芸、書道、絵画、俳句、生け花、木工他）

H 8 477点 ⇒ H18 432点 ⇒ R 6 254点

芸能の部（日本舞踊、詩吟、フラメンコ、合唱、吹奏楽他）（453人）

H 8 52団体・4,325人 ⇒ H18 33団体・2,097人 ⇒ R 6 34団体・453人

体験講座（フルート、ヴァイオリン、ドライフラワー他）

■ながいずみ美術展

時期：9月下旬

会場：コミュニティセンター

内容：日本画、洋画、彫刻、陶芸（124点）

H 8 176点 ⇒ H18 140点 ⇒ R 6 124点

■長泉ピアノマラソン

時期：12月上旬

会場：文化センターホール

内容：フルコンサートピアノによるコンサートホールでの生演奏の機会を提供

H 8 300組 ⇒ H18 287組 ⇒ R 6 232組

2 予算

約 321 万円

3 成果

町民の文化芸術活動（発表・鑑賞）の機会創出につながっている。

4 課題

参加者（出品者）の高齢化や形骸化により参加人数が減少しており、文化祭については令和7年度から2部制を1部制に変更しているが、住民の生活・文化スタイルの多様化が進むなか、時代のニーズに合致しているが検討する必要がある。

5 近隣市町の状況

文化協会展、文化祭、美術展、ピアノマラソンを全て個別に実施しているのは当町のみである。沼津市、三島市、裾野市、清水町では芸術祭を実施しており、清水町では芸術祭の中で町民によるピアノコンサートを実施している。なお、文化協会展を開催している自治体は当町のみで、沼津市では既に文化協会が解散している。

社会教育振興事業（生涯学習、家庭教育、高齢者学級）

1 事業概要・目的

【目的・概要】

社会教育振興のため下記事業を実施する。

■生涯学習推進

- ・生涯学習だよりの発行（年4回）108万円
- ・地域づくり活動事業費補助金（5万円×34区）170万円
- ・長泉わくわく塾運営補助金（23講座）18万円

■家庭教育推進

- ・家庭教育学級の運営（8学級）80万円
H8 1,046人 ⇒ H16 1,010人 ⇒ R 6 359人
- ・子育て学習講座の開催（3小学校・2中学校）3万円

■高齢者学習推進

- ・くすのき学級の運営（教養講座、クラブ活動、送迎等）168万円
H8 435人 ⇒ H18 421人 ⇒ R 6 391人

2 予算

約 546 万円

3 成果

高齢者の外出機会の確保（社会参画）や、家庭教育の機能の向上と保護者同士のつながり確保、地域イベントの開催によるコミュニティの活性化等

4 課題

高齢者学級の対象年齢が60歳であることやシニアクラブと事業が類似していること、家庭教育学級や地域づくり活動事業費補助金における親睦事業への公金投入等について見直しをする必要がある。また、住民の生活・文化スタイルの多様化が進むなか、時代のニーズに合致しているが検討する必要がある。

5 近隣市町の状況

高齢者学級について、近隣市町では市町か社会福祉協議会のどちらかが主催しているが両方で事業を実施しているのは当町のみ。なお、これとは別に介護予防教室を各市町とも実施している。家庭教育学級についてはどの市町でも実施しているが、三島市では小中学校、幼稚園で年度あたり1校1講座程度である。地域づくりの補助金について、清水町では各区への運営補助金の補助対象の項目の一つに親睦事業も含まれている。

自主運行バス（南北線）

1 事業概要・目的

【目的】

生活交通の確保と公共交通網の充実を図ることによる自家用車の利用抑制、交通渋滞の緩和および交通事故の減少。

【概要】

平成14年 清水町と共同運行開始（2系統・西回り 10/便、東周り 9便/日）

平成18年 清水町の撤退により単独運行開始（平日 7 便、土曜日 6 便、日祝日 5 便）

令和 5 年 1 月に南北線と循環線に再編

令和 8 年 1 月から南北線のみ運行（循環線は令和 7 年12月で終了）

・南北線

平 日：6 便／日（1 便始発：7 時45分、6 便帰着：18時57分）

土休日：5 便／日（1 便始発：9 時00分、5 便帰着：18時27分）

（参考）循環線

※令和 5 年 1 月から 3 年間の実証運行を行ったが、1 便あたり約 4 人と利用状況が少なかったことから本運行には移行しなかった。（年間運行経費 約3, 000万円）

2 予算

2, 148 万円

3 成果（乗車人数）

H15 39, 645人 H17 44, 229人 H18 29, 121人 H25 47, 763人 H30 40, 069人

R 3 29, 459人 R 6 33, 861人 R 7 31, 350人

4 課題

運行開始時から福祉施策の要素は含まれていたが、コロナ禍以降、住民の移動ニーズの多様化等で利用者が減少している。また、高齢者等には令和 4 年度よりマイナンバーカードを活用したタクシー利用助成事業も実施していることから、主に高齢者などの移動制約者に対する自主運行バス事業の費用対効果の検証が必要である。（令和 8 年度からはA I オンデマンド交通運行事業を開始）

5 近隣市町の状況

県内多くの市町で自主運行バス事業は実施されているものの、近年、三島市などの観光地を除き、利用者の減少や運転手不足により運休や減便・廃止が続いており、当町でも利用者は減少傾向にある。

生ごみ処理機設置費補助金

1 事業概要・目的

【目的】

家庭等から排出される生ごみの自家処理を推進することにより、ごみの減量化を図るとともに、焼却時における温室効果ガスの削減を図る。

【概要】

町民もしくは町内事業者に対する補助金で、補助額は生ごみ処理機器等購入費の2分の1以内とし、令和8年度に下記のとおり補助額（上限額）を見直した。

- ・生ごみ処理機器 30,000円 ⇒ 10,000円
- ・生ごみ堆肥化容器 4,000円 ⇒ 3,000円

2 予算

48 万円

3 成果

令和6年度 生ごみ処理機 48件、生ごみ堆肥化容器 3件
平成16年度 生ごみ処理機 66件、生ごみ堆肥化容器 3件
平成12年度 生ごみ処理機176件、生ごみ堆肥化容器10件

4 課題

補助額については令和8年度から上限を見直したが、制度開始から25年間経過し、一定の目的を達成した状況であると認識している。

（申請状況）

令和8年4～6月 18件

令和7年4～6月 12件

5 県内市町の状況

機械式と容器式の両方のタイプを補助している自治体は当町を含め21団体である。

機械式：上限額の多くは1～4万円（3万円が最多）

容器式：上限額の多くは4千円～2万円（5千円が最多）

ふれあいカレンダー発行事業

1 事業概要・目的

【目的】

町のイベント情報や公共施設情報など住民生活に必要な情報を「ふれあいカレンダー」に集約し、全戸及び公共施設などに配布することで日々の住民生活を円滑にする。

【概要】

A 3 サイズのカレンダーを全戸及び公共施設等に配布（18, 150部）

※令和 7 年度に見開き B 3 サイズを見開き A 3 サイズに縮小

2 予算

160 万円

3 成果

町のイベント情報や公共施設情報などの住民生活に必要な情報を提供

4 課題

無償でカレンダーを配布することに対する住民サービス水準の適正化の検証が必要である。

5 近隣市町の状況（県東部 18 市町）

・無償全戸配布：6 市 4 町

市：富士市、沼津市、三島市、裾野市、御殿場市、伊豆の国市

町：清水町、函南町、河津町

西伊豆町

・制作無し：4 市 4 町

市：伊豆市、熱海市、伊東市、下田市

町：小山町、東伊豆町、南伊豆町、松崎町